

ヘルメットをかぶって建築中の校舎に入ったのが、この校舎との出会い。管理棟を正面にフォークのように西に向かって伸びる3棟建ての設計は、シンプルで機能的だと思った▼完成後に訪れた校舎は、採光の工夫もありとても明るいと思った。校長室は豪華ではないが、自分の知りうる中では、トップレベルの広さ。シングルソファが12脚と机が6台、整然と収まっている▼それから12年。新校舎とはもう呼べないかもしれない。ここで働くことになったのも何かの縁▼1日に1回は校舎を歩きたいと思っているが、5分ずつ回っても1時間では回りきれない時がある。施設点検の意味もあるが、一番の目的は、子ども達の様子を見ること。とても楽しい時間▼教室に入っていく、空いている席があったりすると休憩がてら、一緒に授業を受ける。そっと入っていくので、気が付かない子どもや先生もいたりする。気が付くと小さな声であいさつしてくれたり、笑顔を返してくれる。授業の邪魔にはなっていないと思うけれども・・・▼授業の様態は大きく2つある。「厳しい授業」と「楽しい授業」。どちらかに偏っていてもいけない。どちらも「しあわせになるための準備」。求めているものが違う▼来週からは、中間テストの期間が始まる。テストと名前がつくからには、1点でも多く点数を取って欲しい。家庭学習は誘惑が多いが、負けたくない。

080515-5 校舎を歩いてみると